

## 日本現代中国学会関東部会 2025 年度定例研究会

**【2月19日追記・変更】当初のプログラムから変更になりました。こちらの最新版をご確認ください。**

2026 年は文化大革命終結・毛沢東死去から 50 年となる節目の年です。

日本現代中国学会では 2026 年度全国学術大会にて、毛沢東没後 50 周年をテーマとした共通論題を準備中です。そこで本年度の関東部会定例研究会では、高曉彦氏および鄭成氏のお二方をお招きし、それぞれの著書・研究について語っていただき、角崎信也氏からコメントをいただきます。基層の民兵の実態や思想動員と、様々な角度から毛沢東時期について考える機会にしたいと思います。

日時：2026 年 2 月 28 日（土）14:50-17:30

場所：國立館大学世田谷キャンパス メイプル・センチュリー・ホール 5 階第 1 会議室

（小田急小田原線 梅ヶ丘 徒歩 9 分、東急世田谷線 松陰神社前駅 徒歩 6 分）

参照：<https://www.kokushikan.ac.jp/information/campus/setagaya/>

テーマ：毛沢東時代を考える—民兵、思想動員とその時代—

14:30 開場

14:50～15:00 開会の辞、趣旨説明

15:00～15:30 高 晓彦（東北大学）

「著書『毛沢東時代の統治と民兵』について」

15:30～16:00 鄭 成（兵庫県立大学）

「毛沢東時代の思想動員—新時代のストーリー作り—」

16:00～16:30 コメント 角崎信也（一般財団法人霞山会）

16:40～16:50 報告者からの応答

16:50～17:30 質疑応答

司会 河野 正（國立館大学）

\*懇親会を予定しています。会場は以下の通りです。

梅江飯店（東京都世田谷区梅丘）

<https://tabelog.com/tokyo/A1318/A131812/13118546/>

